

科目名		老年学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
高齢者の身体的・精神的特性を介護的観点から導入して、生理的精神的变化を学び、高齢者を理解する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
高齢者の解剖学的生理学的変化や特徴を学び、医療者として対峙するべき注意点を理解する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
・ 高齢者の加齢変化について説明できる。 ・ 理学療法士の観点から、治療場面等で起こりえる特有の事態と対処方法を述べられる。									
回数	講義内容								
1	老年学の概念について、老年社会学について（人口動態、行動心理等を含む）								
2	生理的老化について（感覚機能、自立機能、高次脳機能、睡眠等）								
3	老年症候群について（意識障害、脱水、失禁等）（転倒、骨折等）（褥瘡、嚥下障害等）								
4	認知症について（介護負担、高齢者虐待、身体抑制を含む）								
5	高齢者リハビリテーションの流れ（急性期、回復期、維持期）								
6	介護保険制度、介護予防事業について								
7	介護老人保健施設・特別養護老人施設でのリハビリテーション								
8	高齢者の運動処方について								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

学期末筆記試験の点数によってのみ評価
